

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	火	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	VRシミュレーション			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
教材:講師作成資料 自己学習法:模擬試験等の学習など			航空機の到着・出発に関わるグランドハンドリングの業務についての知識とスキル習得する。 また、VRシミュレーターを活用し、車両感覚や業務作業時の注意点についての理解を深める。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を通して、グランドハンドリング業務における知識ならびに実技の技量習得を目指す。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いての講義ならびに講師によるVR実践をしたのち、練習問題や学生によるVR実践に取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月14日	□授業ガイダンス □VRシミュレーターについて □GH業務の流れについて			□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □VRの使用方法、セット、注意点を理解する □GH業務の流れを再認識する						
2	4月21日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:コーンの間走行) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
3	4月28日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:ハの字走行) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
4	5月12日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:ハの字走行) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
5	5月19日	□確認テスト①(30点満点)			□TT車による「ハの字走行」の実技テストを行い、現状のスキルレベルを把握する						
6	5月26日										
7	6月2日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:HL装着:練習場VER) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
8	6月9日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:HL装着:練習場VER) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
9	6月16日	□確認テスト②(30点満点)			□TT車による「HL装着:練習場VER」の実技テストを行い、現状のスキルレベルを把握する						
10	6月23日										
11	6月30日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:HL装着:駐機場VER) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
12	7月7日	□搭降載に関わる車両の演習(10分毎で回転) □TT車両操作の個別授業(トレーニング交代毎)			□TT車両の操作演習を実施し、車両スキルを習得する(VR:HL装着:駐機場VER) □他学生の操作を参考にし、個別授業にて理解を深める						
13	7月14日	□確認テスト③(40点満点)			□TT車による「HL装着:駐機場VER」の実技テストを行い、現状のスキルレベルを把握する						
14	7月21日										
15	7月28日	□評価フィードバック □プッシュバックの個別練習			□前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る □フィードバック待機中にプッシュバックを体感する						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	火	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	ランプハンドリング実務①（ランプ編）			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
教材：講師作成資料 自己学習法：模擬試験等の学習など			航空機の到着・出発に関わる、グランドハンドリングの業務についての知識を習得し、多種多様な業務の応用と使用機材、レターコードを理解する。								
授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）											
<p>（授業概要） 講義を中心に、グランドハンドリング業務の知識と実技を習得し、グランドハンドリング業界における即戦力となるようにする。 また身に付けた知識と技量を成果発表にて企業に評価していただき、自身のスキルのレベルを認識する。</p> <p>（授業形式） 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題や実技練習に各自取り組む。</p> <p>（評価方法） 確認テストの合計（満点100）により評価する。評価基準はA（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）。 D評価者は単位を付与しない。</p>											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標（Can Doなど）							
1	4月14日	<input type="checkbox"/> 授業ガイダンス <input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GH全般の業務&流れについて（振り返り）	<input type="checkbox"/> 授業の形式と学習項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> GH業務の全般の流れを理解する								
2	4月21日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GSE①（地上支援器材）について	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 貨物・郵便物・手荷物の取り下ろしに関するGSEについて理解する（HL）（BL） <input type="checkbox"/> HL・BL操作に伴う注意箇所について理解する								
3	4月28日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GSE①（地上支援器材）について	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 貨物・郵便物・手荷物の取り下ろしに関するGSEについて理解する（HL）（BL） <input type="checkbox"/> HL・BL操作に伴う注意箇所について理解する								
4	5月12日	<input type="checkbox"/> 確認テスト①（30点満点）	<input type="checkbox"/> 第1回から第3回までの範囲で確認テスト								
5	5月19日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> 無線機材について（使い方 & 実践編）	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 業界用語で使用するフォネティックコードを覚える <input type="checkbox"/> 無線の使用に伴う注意点を理解する								
6	5月26日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GSE③（地上支援器材）について	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 航空機の給水や汚水に関するGSEについて理解する（WT/LT） <input type="checkbox"/> WT/LT操作に伴う注意箇所について理解する								
7	6月2日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GSE③（地上支援器材）について	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 航空機の給水や汚水に関するGSEについて理解する（WT/LT） <input type="checkbox"/> WT/LT操作に伴う注意箇所について理解する								
8	6月9日	<input type="checkbox"/> 確認テスト②（30点満点）	<input type="checkbox"/> 第5回から第7回までの範囲で確認テスト								
9	6月16日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GH業務について（その他）	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 航空機の駐機中のGH業務にかかわるGSEについて理解を深める								
10	6月23日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> GH業務について（その他）	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 航空機の駐機中のGH業務にかかわるGSEについて理解を深める								
11	6月30日	<input type="checkbox"/> 確認テスト③（20点満点）	<input type="checkbox"/> 第9回から第10回までの範囲で確認テスト								
12	7月7日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> タイダウンについて	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> タイダウンの概要を学び、様々な物品でタイダウン演習する								
13	7月14日	<input type="checkbox"/> GSE&航空業界用語（航空会社コード） <input type="checkbox"/> タイダウンについて	<input type="checkbox"/> 航空会社コードとGSEの名称と略称コードを覚える <input type="checkbox"/> 様々な物品でタイダウン演習する								
14	7月21日	<input type="checkbox"/> 確認テスト④（実技20点満点）	<input type="checkbox"/> タイダウンの実技テスト								
15	7月28日	<input type="checkbox"/> 評価フィードバック	<input type="checkbox"/> 前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	木	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	ランプハンドリング実務②(ランプ外編)			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:講師作成資料				航空機の到着・出発に関わる、グランドハンドリングの業務についての知識を習得し、多種多様な業務の応用と使用機材、レターコードを理解する。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を中心に、グランドハンドリング業務の知識と実技を習得し、グランドハンドリング業界における即戦力となるようにする。また身に付けた知識と技量を成果発表にて企業に評価していただき、自身のスキルのレベルを認識する。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題や実技練習に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己 チェック	到達目標(Can Doなど)				
1	4月16日	<input type="checkbox"/> 授業ガイダンス <input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> GH全般の業務&流れについて(振り返り)				<input type="checkbox"/> 授業の形式と学習項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> GH業務の全般の流れを理解する					
2	4月23日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> オペレーションコントロールについて				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> オペレーションコントロールの概要を理解する					
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> フライトプランについて				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> フライトプランの概要を理解する					
5	5月21日	<input checked="" type="checkbox"/> 確認テスト①(20点満点)				<input type="checkbox"/> 第1回から第4回までの範囲で確認テスト					
6	5月28日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ロード・プラン(搭載計画)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ロード・プラン(搭載計画)の概要を理解する					
7	6月4日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ロード・プラン(搭載計画)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ロード・プラン(搭載計画)の概要と専門用語を理解する <input type="checkbox"/> 運航に関わる重量の用語について理解する					
8	6月11日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ロード・プラン(搭載計画)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ロード・プラン(搭載計画)の概要と専門用語を理解する <input type="checkbox"/> 運航に関わる重量の用語について理解する					
9	6月18日	<input checked="" type="checkbox"/> 確認テスト②(40点満点)				<input type="checkbox"/> ロード・プランに関する確認テスト					
10	6月25日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ウェイト&バランス(重量管理)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ウェイト&バランスの概要や基礎知識を理解する					
11	7月2日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ウェイト&バランス(重量管理)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ウェイト&バランスの基本知識・基礎用語を理解する					
12	7月9日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ウェイト&バランス(重量管理)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ウェイト&バランスシートの作成から発行までの流れを理解する <input type="checkbox"/> ウェイト&バランスシートの作成の実践をする					
13	7月16日	<input type="checkbox"/> 航空業界用語(海外空港コード) <input type="checkbox"/> ウェイト&バランス(重量管理)について				<input type="checkbox"/> 海外空港コードである3レターコードを覚える <input type="checkbox"/> ウェイト&バランスシートの作成から発行までの流れを理解する <input type="checkbox"/> ウェイト&バランスシートの作成の実践をする					
14	7月23日	<input checked="" type="checkbox"/> 確認テスト③(40点満点)				<input type="checkbox"/> ウェイト&バランスシートに関する確認テスト					
15	7月30日	<input type="checkbox"/> 評価フィードバック				<input type="checkbox"/> 前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	危険物航空輸送			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:講師作成資料				グランドハンドリング業務で必要な危険物の諸規則を学び、航空危険物の基礎を理解する。また、航空業界における航空危険物の取扱いに関する資格試験の対策を実施し、即戦力となるスキル・知識の習得を目指す。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を中心に、ランプ業務、貨物業務で必要な知識、取り扱いを実際の事例を基に理解する。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己チェック	到達目標(Can Doなど)				
1	4月15日	□授業ガイダンス □航空危険物概要について				□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □航空危険物の基本を理解する					
2	4月22日	□航空危険物概要について				□航空危険物の基本を理解する					
3	5月13日	□航空危険物の基礎について				□航空危険物の「適用」について理解する □航空危険物の「制限」について理解する					
4	5月20日	□航空危険物の基礎について				□航空危険物を取り扱う荷主と運航者の役割・責任について理解する					
5	5月27日	□確認テスト①(35点満点) □航空危険物の基礎について				□第1回~第4回の範囲で確認テスト □危険物申告書の読解方を理解する					
6	6月3日	□航空危険物の基礎について				□航空危険物の分類、物品、包装方法について理解する □航空危険物のマーキングおよびラベリングについて理解する(暗記用ゲーム作成)					
7	6月10日	□航空危険物の基礎について				□航空危険物のマーキングおよびラベリングについて理解する					
8	6月17日	□確認テスト②(35点満点) □航空危険物の搭降載について				□第5回~第7回の範囲で確認テスト □航空危険物の緊急対応および積み込み要件について理解する					
9	6月24日	□航空危険物の搭降載について				□航空危険物の隔離、分離、貨物室制限について理解する					
10	7月1日	□航空危険物の搭降載について				□航空危険物の航空機への搭載の準備について理解する					
11	7月8日	□航空危険物の搭降載について				□航空貨物および手荷物の輸送について理解する					
12	7月15日	□航空危険物による事故について				□航空危険物に係る事故について学び、危険予知能力を高める					
13	7月22日	□確認テスト③(30点満点) □ロールプレイング				□第8回~第12回の範囲で確認テスト □様々な場面による危険物取扱いのロールプレイングを行い、危険予知能力を高める					
14	7月29日	□評価フィードバック □振り返り & ディスカッション(安全宣言)				□前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る □全体の振り返りを行い、航空の安全を守る者としての安全宣言を掲げ安全意識を高める					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	水	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	危険予知トレーニング			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
教材:講師作成資料			グランドハンドリング業務で必要な安全に対する意識の向上を促し、人間の特性とKYTトレーニングによる危険に対して気が付く能力を高める。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を中心に、グループワーク、ディスカッションを実施し、安全に対する認知の向上を図り、現場における事故防止能力を高める。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己チェック	到達目標(Can Doなど)				
1	4月15日	□授業ガイダンス □危険予知概要について				□授業の形式と学習項目、評価基準を理解する □危険予知の基本を理解する					
2	4月22日	□危険予知概要について				□危険予知の基本を理解する					
3	5月13日	□ヒューマンファクターの基礎について				□ヒューマンファクターの基礎を理解する					
4	5月20日	□ヒューマンファクターの基礎について				□エラーの特性について理解する □エラーの分類について学び、自身の危険予知能力を高める					
5	5月27日	□ヒューマンファクターの基礎について				□人のミスを学び、自身の危険予知能力を高める □12の要素からエラー防止策を考えられるようになる					
6	6月3日	□確認テスト①(40点満点) □KYT基礎(4ラウンド法)				□第1回から第5回までの範囲で確認テスト □4ラウンド法の基礎について学び、予防法を立てられるようになる					
7	6月10日	□日常事故とKYTについて □航空機事故とKYTについて				□4ラウンド法の実践を通して、現場に即したアイデアを考えられるようになる					
8	6月17日	□確認テスト②(20点満点) □安全マネジメントシステムについて				□第6回から第7回までの範囲で確認テスト □個人のエラー、事故分析、ハザードの抽出について理解す					
9	6月24日	□安全マネジメントシステムについて				□個人のエラー、事故分析、ハザードの抽出について理解する □気づきから不安全事象の予防を学び、危険予知能力を高める					
10	7月1日	□事例から考えるヒューマン特性について①				□テネリフェ空港などの事例からCrew Resource Management(CRM)を学ぶ					
11	7月8日	□事例から考えるヒューマン特性について②				□テネリフェ空港などの事例からCrew Resource Management(CRM)を学ぶ					
12	7月15日	□駐機場周辺での危険箇所について(VR使用)				□VRトレーニングにて現場に即した危険箇所を学び、危険予知能力を高める					
13	7月22日	□確認テスト③(40点満点) □駐機場周辺での危険箇所について(VR使用)				□第8回から第12回までの範囲で確認テスト □VRトレーニングにて現場に即した危険箇所を学び、危険予知能力を高める					
14	7月29日	□評価フィードバック □駐機場周辺での危険箇所について(VR使用)				□前期評価のフィードバックを受け、弱点や苦手部分を知る □VRトレーニングにて現場に即した危険箇所を学び、危険予知能力を高める					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	水	時限	I	単位数	2	時間数	30
科目名	空港規則			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
グランドハンドリング実務で培った現場の教訓を具体例として授業に組み込み、即戦力となるプロの意識と技術を養成します。□											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:講師作成資料				グランドハンドリング業務で必要な安全に対する意識の向上を促し、人間の特性とKYTトレーニングによる危険に対して気が付く能力を高める。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義を中心に、グループワーク、ディスカッションを実施し、安全に対する認知の向上を図り、現場におけるの事故防止能力を高める。											
(授業形式) 講師作成の資料を用いて講義したのち、その実践として練習問題に各自取り組む。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月15日	□オリエンテーション □羽田空港と成田空港について			□授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などの説明する □羽田空港と成田空港についての概要を理解する						
2	4月22日	□空港における「総則」について □空港における「通則」について			□空港並びに空港規則の概要を理解する □用語の定義や適用について理解する □航空機優先の理由について理解する						
3	5月13日	□空港における「通則」について □空港における「手続き」について			□事故、違反時の対応について理解する □立ち入り承認について理解する						
4	5月20日	□空港における「手続き」について			□立ち入り承認について理解する						
5	5月27日	□振り返り □確認テスト①(30点満点)			□第1回~第4回の範囲で確認テストを実施する □空港内車両試験を元に確認テストを実施する						
6	6月3日	□空港における「車両運転」について			□使用者、安全運転について理解する □車両点検について理解する						
7	6月10日	□空港における「車両運転」について			□車両の制限速度、高さを理解する □マーキング指示標示について理解する						
8	6月17日	□空港における「車両運転」について			□マーキング指示標示について理解する □走行路関係(誘導路横断通路、サービスレーン)について理解する						
9	6月24日	□振り返り □確認テスト②(35点満点)			□第6回~第8回の範囲で確認テストを実施する □空港内車両試験を元に確認テストを実施する						
10	7月1日	□空港における「車両運転」について			□走行路関係(車両通路関係)について理解する □車両故障時における対応について理解する						
11	7月8日	□空港における「車両運転」について			□車両承認の概要について理解する □車両承認についての項目を理解する □航空機走行時の注意について理解する						
12	7月15日	□空港における「車両運転」について			□車両承認の概要について理解する □車両承認についての項目を理解する □航空機走行時の注意について理解する						
13	7月22日	□振り返り □確認テスト③(35点満点)			□第10回~第12回の範囲で確認テストを実施する □空港内車両試験を元に確認テストを実施する						
14	7月29日	□評価フィードバック			□成績のフィードバックを実施する						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	2EF	曜日	木	時限	1	単位数	2	時間数	←単位を入力
科目名	Conversational English			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
Darien has been teaching English in Japan since 2015. He has taught students of all levels in junior high school, senior high school, and college.											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
Short Lecture, Speaking Activities, Conversation Practice, and Discussions				This class will expand your speaking and communication skills in English to prepare you for conversations in daily life.							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) You will learn to expand your opinions and tell stories in conversation.											
(授業形式) You will practice conversations about different topics to improve your fluency, accuracy, and complexity in communication.											
(教材) Materials Made by the Global Center (on LoiLoNote)											
(評価方法) Speaking Tests 4 x 25 points = 100 points											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月16日	Orientation			<input type="checkbox"/> Learn about the goals of this semester <input type="checkbox"/> Introduce yourself <input type="checkbox"/>						
2	4月23日	Entertainment			<input type="checkbox"/> Review 5W1H <input type="checkbox"/> Ask and answer more questions about entertainment <input type="checkbox"/>						
3	5月7日	Sports Day									
4	5月14日	Fashion			<input type="checkbox"/> Ask and answer specific questions about fashion <input type="checkbox"/> Expand your opinions with more details <input type="checkbox"/>						
5	5月21日	Speaking Test (25 points)			<input type="checkbox"/> Have a conversation about entertainment and fashion <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
6	5月28日	Memories			<input type="checkbox"/> Ask and answer specific questions about memories <input type="checkbox"/> Tell a story of a memory with details about a problem and how you solved it						
7	6月4日	Volunteering			<input type="checkbox"/> Ask and answer opinion and story questions about volunteering with more details <input type="checkbox"/> Combine describing words to give more details about a person, place, or						
8	6月11日	Speaking Test (25 points)			<input type="checkbox"/> Have a conversation about entertainment and fashion <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
9	6月18日	Internships			<input type="checkbox"/> Ask and answer opinion and story questions about internships with more details <input type="checkbox"/> Use +ly words to describe how you do actions						
10	6月25日	Books			<input type="checkbox"/> Ask and answer opinion and story questions about books with more details <input type="checkbox"/> Tell how sure you are about your actions						
11	7月2日	Speaking Test (25 points)			<input type="checkbox"/> Have a conversation about entertainment and fashion <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
12	7月9日	Romance			<input type="checkbox"/> Ask and answer opinion and story questions about romance with more details <input type="checkbox"/> Tell the emotions of your actions						
13	7月16日	Coworkers			<input type="checkbox"/> Ask and answer opinion questions about coworkers with more details <input type="checkbox"/> use 'if...' and 'should...' to give advice <input type="checkbox"/>						
14	7月23日	Speaking Test (25 points)			<input type="checkbox"/> Have a conversation about entertainment and fashion <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
15	7月30日	Grades & Feedback			<input type="checkbox"/> Get feedback from your teacher <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	2TA	曜日	木	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	TOEIC L&R			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
英語を社内言語とする外資系金融会社のエンジニアとして20代を過ごした経験を通じ、ビジネスシーンにおける実践的英語表現を紹介する											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
TOEIC L&R Test 至高の模試600問 TOEIC700点~900点台獲得			①TOEICの問題形式を深く理解する、②自分の弱点を特定する、③各パートの解答のコツを身に着ける、④読解力を底上げする								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 問題集の演習にPart2、Part5、Part7をメインに取り組む。 (授業形式) 講義形式 (評価方法) 評価テスト3回(30点、30点、40点)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月16日	授業計画書の確認 Listening: Part1 & 2, Reading: Part5			<input type="checkbox"/> 5W1H+3で疑問文を作ることができる <input type="checkbox"/> 品詞問題の効率の良い解答方法を説明できる						
2	4月23日	Listening: Part2 Reading: Part5, Vocabulary			<input type="checkbox"/> 5W1H+3に対する間接的な応えを見分けられる <input type="checkbox"/> 動詞、形容詞、名詞、副詞を表す接尾辞を合計10個以上挙げられる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	Listening: Part2, 3 Reading: Part5, Vocabulary			<input type="checkbox"/> 5W1H+3に対する間接的な応えを作ることができる <input type="checkbox"/> 形容詞と副詞の機能の違いを説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
5	5月21日	Listening: Part2, 3 Reading: Part6, Vocabulary			<input type="checkbox"/> 付加疑問文に対してYes/Noを混乱なく答えられる <input type="checkbox"/> Part6の効率の良い取り組み方を説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
6	5月28日	Listening: Part2 Reading: Part6, Vocabulary 評価テスト①(30点)			<input type="checkbox"/> 平叙文に対するTOEICばい返答ができる <input type="checkbox"/> Part6の時制問題のヒントを見分けられる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
7	6月4日	Listening: Part4 Reading: Part6, Vocabulary			<input type="checkbox"/> Part4の問題文を先に読んでから音声を聞くことができる <input type="checkbox"/> 接続語問題の効率の良い解き方を説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
8	6月11日	Listening: Part4 Reading: Part6, Vocabulary			<input type="checkbox"/> アナウンスの出だしを聞いただけで話者が何者か予想することができる <input type="checkbox"/> Part6の文章挿入問題の効率の良い取り組み方を説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
9	6月18日	Listening: Part4 Reading: Part7, Vocabulary			<input type="checkbox"/> Part3とPart4に共通する出題パターンを説明できる <input type="checkbox"/> Part7における問題文の先読みの重要性を説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
10	6月25日	Listening: Part4 Reading: Part7, Vocabulary 評価テスト②(30点)			<input type="checkbox"/> Part3とPart4に頻出の逆説表現を5つ挙げられる <input type="checkbox"/> 英語と日本語の論法の違いを説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
11	7月2日	Listening: Part3(3人での会話問題) Reading: Part7, Vocabulary			<input type="checkbox"/> 3人での会話問題における注意点を説明できる <input type="checkbox"/> e-mailの差出人の役職だけを見て、受取人を予想することができる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
12	7月9日	Listening: Part3(3人での会話問題) Reading: Part7, Vocabulary			<input type="checkbox"/> 2人での会話、3人での会話両方における共通点を説明できる <input type="checkbox"/> Text Message Chain問題2セットの違いを説明できる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
13	7月16日	Listening: Part3(資料付き問題) Reading: Part7, Vocabulary			<input type="checkbox"/> 資料を見て会話を予想することができる <input type="checkbox"/> 広告のタイトルを見て製品やサービスの内容を予想することができる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
14	7月23日	Listening: Part4(資料付き問題) Reading: Part7, Vocabulary 評価テスト③(40点)			<input type="checkbox"/> 会話表現の意図を問う問題の難しさを説明できる <input type="checkbox"/> 第一段落を読んだだけでその後のTOEICばい展開を予想することができる <input type="checkbox"/> 前回の重要単語の意味を5つ以上答えられる						
15	7月30日	Feedback			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	NOPI	曜日	月	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	エアラインエキスパート			必修・選択	必修	講師名			実務経験	-	
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
羽田空港にてANAの国内線グランドスタッフとして勤務。出発・到着のコントローラー業務やカウンター責任者での経験を活かしサポートします。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
講師作成のテキスト				航空業界のエキスパートとなるために、他業種の業務内容を知り知識と視野を広げる。部署を超え、他業種の人とも円滑なコミュニケーションが取れるよう、横の繋がりを意識する。自身の職種(CA・GS・GH)を、説明・体験させることができる知識技能を身につける。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 航空業界の横の繋がりを強化するため、キャビンアテンダント・グランドスタッフ・グランドハンドリングなど、業界を支える各職種に必要な専門知識や現場対応力を身につける。「空のエキスパート」として活躍するための基礎を固めます。											
(授業形式) 講義形式にてオリジナルテキストを使用し、解説。その後、演習を通し、身につけた知識を実践していく。(前半は座学・後半は実技を実施)											
(教材) 講師作成のテキスト											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。 筆記2回(30点)、レポート1回(40点)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月13日	・オリエンテーション ・授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試			<input type="checkbox"/> 授業の形式と学習項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> テスト概要について理解する						
2	4月20日	空港の概要・役割について			<input type="checkbox"/> 空港概要を理解する						
3	4月27日	航空会社を示す 「2レター・3レターコード」について			<input type="checkbox"/> 代表的な航空会社の2レター・3レターコードを正確に覚える <input type="checkbox"/> コードを見て、どこの航空会社か判断できるようになる						
4	5月11日	・【確認テスト①】筆記:(30点) ・航空機種類(機材)について			<input type="checkbox"/> 代表的な航空機の機種名と特徴を理解する <input type="checkbox"/> 機材に応じたサービスや設備の違いを把握できるようになる <input type="checkbox"/> 航空機の機種を通じて、安全性・快適性・環境性能などの視点が持てるようになる						
5	5月18日	様々な空港係員の業種を理解する			<input type="checkbox"/> 空港で働くさまざまな職種の役割と業務内容を理解する <input type="checkbox"/> 空港全体のサービス品質における各職種の重要性を理解する						
6	5月25日	日本各地の空港について			<input type="checkbox"/> 日本国内の主要空港の名称と所在地を正確に理解する <input type="checkbox"/> 各空港の特徴や役割を理解する						
7	6月1日	世界各国の空港について			<input type="checkbox"/> 世界各国の主要空港の名称と所在地を正確に理解する <input type="checkbox"/> 各空港の特徴や役割を理解する						
8	6月8日	・【確認テスト②】筆記:(30点) ・他業種体験準備			<input type="checkbox"/> 他業種体験の準備を行う						
9	6月15日	他業種体験準備			<input type="checkbox"/> 他業種体験の準備を行う						
10	6月22日	他業種体験①(CA・GS・AP)			<input type="checkbox"/> CA・GS・APを実際に体験し、求められるスキル・連携力への理解を深める <input type="checkbox"/> 各職種の仕事内容や現場での役割を体験を通して具体的に理解できるようになる <input type="checkbox"/> 各職種に共通するチームワークの重要性を理解する						
11	6月29日	他業種体験②(CA・GS・AP)			<input type="checkbox"/> CA・GS・APを実際に体験し、求められるスキル・連携力への理解を深める <input type="checkbox"/> 各職種の仕事内容や現場での役割を体験を通して具体的に理解できるようになる <input type="checkbox"/> 各職種に共通するチームワークの重要性を理解する						
12	7月6日	他業種体験③(CA・GS・AP)			<input type="checkbox"/> CA・GS・APを実際に体験し、求められるスキル・連携力への理解を深める <input type="checkbox"/> 各職種の仕事内容や現場での役割を体験を通して具体的に理解できるようになる <input type="checkbox"/> 各職種に共通するチームワークの重要性を理解する						
13	7月13日	・【確認テスト③】レポート:(40点) ・総復習			<input type="checkbox"/> 前期に学んだ内容を振り返る <input type="checkbox"/> 知識の定着を確認する						
14	7月27日	前期フィードバック			<input type="checkbox"/> 自身の成長や課題を抽出する <input type="checkbox"/> 自身に必要な改善点や目標を整理し、次の行動に繋げていく						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	NOPI	曜日	月	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	ワールドリサーチ			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
現役社員(羽田空港国際線勤務)として、現場の取り組みや求める人物像をもとに指導。コンテスト・教官経験あり。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
講師作成の資料				① 様々な問題について考えることで、多様性の理解を広げ、柔軟性をも似つける ② 自分の意見を持ち、論理的に話す力を身に着ける ③ 他者を尊重する傾聴力を身に着ける							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 多文化を学ぶとともに多様性を理解しコミュニケーション力向上を目指します。またインバウンドに関する基礎知識を学び、国際化に対応できる知識を養います											
(授業形式) ディスカッション/ディベート/講義											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。											
回数	実施日	学習項目や学習概略				自己チェック	到達目標(Can Doなど)				
1	4月13日	オリエンテーション ディスカッションについて 多様性				<input type="checkbox"/> 授業のねらい、到達点を理解できる <input type="checkbox"/> ディスカッションについて再確認できる					
2	4月20日	宗教について(キリスト教)				<input type="checkbox"/> キリスト教について理解できる					
3	4月27日	宗教について(キリスト教)				<input type="checkbox"/> キリスト教について理解できる					
4	5月11日	筆記テスト①(20点:宗教、キリスト教) 宗教について(仏教)				<input type="checkbox"/> 仏教について理解できる					
5	5月18日	宗教について(仏教)				<input type="checkbox"/> 仏教について理解できる					
6	5月25日	筆記テスト①(20点:仏教) 宗教について(イスラム教)				<input type="checkbox"/> イスラム教について理解できる					
7	6月1日	宗教について(イスラム教)				<input type="checkbox"/> イスラム教について理解できる					
8	6月8日	筆記テスト①(20点:仏教) 宗教について(ヒンズー教)				<input type="checkbox"/> ヒンズー教について理解できる					
9	6月15日	宗教について(ヒンズー教)				<input type="checkbox"/> ヒンズー教について理解できる					
10	6月22日	宗教について(ユダヤ教)				<input type="checkbox"/> ユダヤ教について理解できる					
11	6月29日	筆記テスト②(20点:ヒンズー教、ユダヤ教) ディベート実習				<input type="checkbox"/> ディベートを知る <input type="checkbox"/> ディベートを通して論理的に意見を伝えることができる <input type="checkbox"/> ディベートを通して相手の話を聴くことができる					
12	7月6日	ディベート実習				<input type="checkbox"/> ディベートを通して論理的に意見を伝えることができる <input type="checkbox"/> ディベートを通して相手の話を聴くことができる					
13	7月13日	実技テスト①(20点:ディベート)				<input type="checkbox"/> ディベートを通して論理的に意見を伝えることができる <input type="checkbox"/> ディベートを通して相手の話を聴くことができる					
14	7月27日	前期の振り返り・フィードバック				<input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベートを通してコミュニケーション能力向上の確認をする <input type="checkbox"/> 多様性の理解を広げる					

履修時期	2026年度前期	授業クラス	NOPC	曜日	火	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	中国語			必修・選択	選択	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
(教材)接客中国語第7版 ロイロノート資料箱に音声データを格納 (資格)中国語検定HSK1~3級				中国語を初めて学ぶ初心者を対象に、基礎から学習するコースです。中国語の要である「発音」を特に重視し、反復練習を通じて確実に定着を図ります。 授業では、基本的なあいさつから業務で必須となる接客フレーズまで、丁寧に適切な表現を実践的に学びます。 言葉だけでなく、背景にある中国の文化や習慣への理解も深めることで、インバウンドのお客さまへ心温まる「おもてなし」を実践できるようになることを最終目標とします。□							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要と形式) 1書き込み式のテキストとスライドを使用して授業を進めます。テキストは毎回必ず持参してください(iPad等での代用は不可とします。授業中はカバン等にしておいてください)。万が一忘れてしまった場合は、授業開始時に必ず申し出てください。 2ロイロノートに音声資料や追加の単語リストなどを配信します。欠席時のフォローアップ、授業の復習、テスト前の学習などに積極的に活用してください。 3授業内で練習問題に取り組み、理解度を確認します。原則として授業内で答え合わせまで行いますが、時間が不足した場合はロイロノートでの課題提出に切り替えることがあります。 (評価方法) 筆記・リスニング・スピーキングテストを計4回(配点は表を参照)、および動画提出(配点10点)を実施して総合的に評価します。なお、テスト範囲は進度によって変更になる場合があります。 スピーキングテストの採点基準 「状況に適した単語・フレーズの選択」「正しいイントネーションと発音」「スムーズな発話」に加え、「接客に相応しい態度で臨めているか」を重視して評価します											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標(Can Doなど)							
1	4月14日	オリエンテーション・中国語について 第0課 発音編	<input type="checkbox"/> 中国語の発音記号「ピン音」の仕組みがわかる <input type="checkbox"/> イントネーションの種類がわかり、発声できる <input type="checkbox"/> 母音の種類とそれぞれの発音ができる								
2	4月21日	第0課 発音編	<input type="checkbox"/> 子音+母音を四声を付けて発音できる <input type="checkbox"/> 有気音、舌歯音、そり舌音の音の発音の仕方がわかり、聞き分けられる <input type="checkbox"/> 「ん」で終わる2種類の音の出し方がわかる								
3	4月28日	リスニングテスト(配点10点) 第0課 発音編	(テスト内容)★単音節のピン音の聞き取り <input type="checkbox"/> 軽声・儿化音・変調のルールがわかる <input type="checkbox"/> 声調を組み合わせ、2音節以上の発音の仕組みがわかる <input type="checkbox"/> 声調記号の書き方がわかる <input type="checkbox"/> 日本語の漢字と簡体字の書き方の違い、パターンがわかる								
4	5月12日	追試/フィードバック 簡体字のパターン・教室でのあいさつ 第1課 はい、私は日本人です	<input type="checkbox"/> あいさつの意味を理解して使える <input type="checkbox"/> 人称代名詞「私・あなた・彼・彼女」がわかる <input type="checkbox"/> 「私は日本人です」と言える <input type="checkbox"/> 自分の名前を中国語で発音できる								
5	5月19日	第2課 あなたのお名前は?	<input type="checkbox"/> 相手の名前の向い方と、自分の名前の答え方がわかる <input type="checkbox"/> 「どうぞ～してください」など、丁寧に願う表現が言える	□動画提出 配点10点							
6	5月26日	P13~28 リスニング・筆記テスト(配点20点) 第3課 これは何ですか?	★単語・フレーズの聞き取り・穴埋め問題 <input type="checkbox"/> 「これ・あれ・どれ」「何?」指示代名詞と疑問詞の使い方がわかる <input type="checkbox"/> 色々な身の回り品の中国語を覚えて、言える								
7	6月2日	追試/フィードバック 第3課 これは何ですか?	<input type="checkbox"/> 「お客様の荷物」「～の…」の言い方がわかる <input type="checkbox"/> 「これもお客様の荷物ですか?」「～も」副詞の位置がわかる <input type="checkbox"/> 家族の呼称を覚えて言える								
8	6月9日	第4課 コーヒーを飲みますか?	<input type="checkbox"/> 一般動詞の肯定文と否定文がわかる <input type="checkbox"/> 疑問文・疑問詞を使った疑問文がわかる <input type="checkbox"/> 主語や動詞を入れ替えても中国語で言うことができる								
9	6月16日	第4課 コーヒーを飲みますか?	<input type="checkbox"/> 提案・同意・推量のニュアンスの出し方がわかる ★次週のテスト概要説明								
10	6月23日	P29~40 スピーキングテスト(配点10点) リスニング・筆記テスト(配点20点)	★2人1組で会話する ★単語・フレーズの聞き取り ★穴埋め問題・中文和訳など								
11	6月30日	追試/フィードバック 第5課 Aセットを2つください	<input type="checkbox"/> 0~10までの数を聞き取り、正確に発音できる <input type="checkbox"/> 人数、チケット数など、数量の聞き方がわかり、使える <input type="checkbox"/> 動詞『いる・いない』の表現が使える								
12	7月7日	第5課 Aセットを2つください 第6課 どこにありますか?	<input type="checkbox"/> 「～と…」の言い方がわかる <input type="checkbox"/> 「ここ・あそこ・どこ」場所を表す指示代名詞と疑問詞の使い方がわかる								
13	7月14日	第6課 どこにありますか?	<input type="checkbox"/> 所在を表す「いる・ある」「トイレは2階にございます」・場所を入れ替えても言える <input type="checkbox"/> 「～で…する」場所を指す前置詞の使ってフレーズが言える <input type="checkbox"/> 方向を表す言葉(前後・左右・上下など)が使える								
14	7月21日	P41~52 スピーキングテスト(配点10点) リスニング・筆記テスト(配点20点)	★2人1組で会話する ★単語・フレーズの聞き取り ★穴埋め問題・中文和訳など								
15	7月28日	追試/フィードバック 学習アプリにチャレンジ 修了予定箇所まで未修の場合は授業します	<input type="checkbox"/> アプリを使った自習ができる <input type="checkbox"/> これまでのテキストの書き込み状況(学習状況)を確認し、疑問点を解消する								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	SWK	曜日	火	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	韓国語			必修・選択	選択	講師名				実務 経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
国際シンポジウムで、数年間韓国同時通訳経験。「なりきりロールプレイ!韓国語会話がぐんぐん上達する本」(国際語学社)の制作に関わる。本校では2017年度から韓国語の授業を担当。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材 「いちばんやさしい書いて覚える韓国語」 (2024、HANA出版)/オリジナルプリント				テキストを使ってハングル文字を読める力を育成する。文字どおりに発音しないことが多いハングルの特性を理解し、積極的に音読練習する。また、日本語より複雑な数の使い方にも慣れ、本格的な業務韓国語を習得する前段階としての基礎固めを行う。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 韓国語を学ぶ上で必要不可欠であるハングルの基礎を学ぶ。今学期の目標はテキストのハングルを送り仮名なしで読めることである。後期の業務韓国語を学ぶ上で必要不可欠な基礎的な能力をつけることが最も重要な達成目標である。											
(授業形式) テキストを使って講義したのち、受講生がテキストの練習問題・オリジナルプリントの問題に取り組む。練習問題と自習の後、授業中で習熟程度を確認する。											
(評価方法) 学期中に行う確認テスト(4回)の合計(満点100)より評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。学期の終わりにD評価者に対して、再学習課題を与え合格基準(全問正解)であった場合に、P評価=単位認定とする。※テスト開始日及び追試申請可能日を要											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月14日	韓国語であいさつを学ぶ ハングルの構造 母音と子音(1)			<input type="checkbox"/> 授業で使う韓国語の挨拶ができる <input type="checkbox"/> ハングル文字の構造が理解できる <input type="checkbox"/> 習った基本母音と子音を発音できる						
2	4月21日	母音と子音(2)			<input type="checkbox"/> 子音と母音を組み合わせた文字が読める <input type="checkbox"/> 日本語にはない子音・母音の音を区別できる <input type="checkbox"/> 習ったテキストの単語が読める						
3	4月28日	【月末テスト①】10点 パッチムについて			<input type="checkbox"/> 制限時間内で単語が読める <input type="checkbox"/> パッチムの位置と音を理解し、パッチムがある単語が読める <input type="checkbox"/> 二重パッチムの音を理解し、二重パッチムがある単語が読める						
4	5月12日	合成母音 日本の地名や人名をハングルに 表現:これは何ですか			<input type="checkbox"/> 合成母音の音を区別でき、合成母音がある単語が読める <input type="checkbox"/> ハングルで表記されている地名や人名が読める <input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる						
5	5月19日	発音のルール①連音化 表現:どの国の人ですか/〇ありますか 授業で使う挨拶文			<input type="checkbox"/> 発音ルールを理解し、正しく発音できる <input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる <input type="checkbox"/> 授業で使う挨拶文を読める						
6	5月26日	【月末テスト②】30点 数字の歌			<input type="checkbox"/> テスト範囲内の単語を自力でスラスラ読める <input type="checkbox"/> 韓国語の数の歌と一緒に歌うことができる <input type="checkbox"/>						
7	6月2日	発音のルール②さの弱化・激音化 漢数字を使った表現(今日は何日ですか) 助詞:「は」、「が」			<input type="checkbox"/> 発音ルールを理解し、正しく発音できる <input type="checkbox"/> 韓国語の助詞の特徴を理解し、使い分けできる <input type="checkbox"/> 1から10まで漢数字を暗唱できる						
8	6月9日	発音のルール③鼻音化 固有数字を使った表現(何名様ですか、いくら ですか)			<input type="checkbox"/> 発音ルールを理解し、正しく発音できる <input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる <input type="checkbox"/> 1から10まで固有数字を暗唱できる						
9	6月16日	発音のルール④濃音化、⑤口蓋音化 時間に関する表現(朝食は〇時からです) 曜日に関する表現			<input type="checkbox"/> 発音ルールを理解し、正しく発音できる <input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる <input type="checkbox"/> 〇時〇分を韓国語で言える						
10	6月23日	発音のルール⑥流音化 注文に関する表現(〇と〇をください) 助詞:「を」、「と」			<input type="checkbox"/> 発音ルールを理解し、正しく発音できる <input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる <input type="checkbox"/> 韓国語の助詞の特徴を理解し、使い分けできる						
11	6月30日	【月末テスト③】30点			<input type="checkbox"/> テスト範囲内の単語と発音ルールをしっかり覚えてテストに備えることができる <input type="checkbox"/> 苦手な単語・表現を把握して見直し学習を行う <input type="checkbox"/>						
12	7月7日	趣味や好みに関する表現(〇が好きです) 助詞:「に」(〇にあります) 名詞+ではありません(否定文)			<input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる <input type="checkbox"/> 名詞+否定文を理解し、使うことができる <input type="checkbox"/>						
13	7月14日	名詞+でした(過去の表現) 名詞+ではありませんでした(過去否定文)			<input type="checkbox"/> 授業で習った表現を使って簡単な会話ができる <input type="checkbox"/> 名詞+過去文を理解し、使うことができる <input type="checkbox"/> 名詞+過去否定文を理解し、使うことができる						
14	7月21日	【期末テスト】30点			<input type="checkbox"/> テスト範囲内の内容をしっかり覚えてテストに備えることができる <input type="checkbox"/> 苦手な単語・表現を把握して見直し学習を行う <input type="checkbox"/>						
15	7月28日	フィードバック 前期の総まとめ 秋学期に向けて			<input type="checkbox"/> 期末テスト結果および最終評価を確認して苦手な箇所を把握する <input type="checkbox"/> 半期の間に習った内容を振り返り、ハングルをスラスラ読めるか自己評価する <input type="checkbox"/> 秋学期に向けて夏休み中の学習目標と具体的な方法、実行計画を立てる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	木	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	Multicultural Studies			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
Identity (Oxford University Press)				多文化共生社会を実現する上での異文化理解を促すとともに、コミュニケーションツールとしての英語を学習する。また多様性を尊重する上で有用な視点や注意点について議論を通じて理解を深める。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 異文化や多様性を尊重する上でのコミュニケーションツールとしての英語を学習し、異文化や外国人との接し方について理解を深める。											
(授業形式) 多文化理解に関わる語彙学習、読解やリスニング、会話練習などを行い、場面に即した対応を行い意見を述べるアウトプット練習につなげる。											
(教材) Identity (Oxford University Press)											
(評価方法) 個別プレゼンテーション × 2回 / 1回:50点											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標 (Can Doなど)							
1	4月16日	オリエンテーション Unit 1 Identity (アイデンティティ)	<input type="checkbox"/> 講座の目的、学習計画、評価方法について理解する <input type="checkbox"/> 講座実施の背景となる日本における多文化共生の現状や情勢についての概要を理解する <input type="checkbox"/> 自身のアイデンティティについて考察する								
2	4月23日	Unit 2 Values (価値観)	<input type="checkbox"/> 自身の文化的な価値観について考察する <input type="checkbox"/> 価値観に関する関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> 価値観について配慮した会話の展開につなげる								
3	5月7日	スポーツデー	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>								
4	5月14日	Unit 3 Culture Shock (カルチャーショック)	<input type="checkbox"/> 異文化で体験することが多いカルチャーショックについて考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> 体験や意見を延べ、助言を行う会話の展開につなげる								
5	5月21日	Unit 4 Culture in Language (言語に表れる文化)	<input type="checkbox"/> 文化と関わり深い言語、言語表現について考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> 文化・習慣に関する事柄を扱う会話の展開につなげる								
6	5月28日	Unit 5 Body Language and Customs (非言語コミュニケーションと習慣)	<input type="checkbox"/> ボディランゲージ、挨拶や動作、相手との距離感など文化特有の習慣について考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> 文化特有の習慣について扱う会話の展開につなげる								
7	6月4日	プレゼンテーション準備	<input type="checkbox"/> Unit1~5で学習した内容に関するプレゼンテーションの準備								
8	6月11日	個別プレゼンテーション / 50点	<input type="checkbox"/> 選択したUnitのプレゼンテーションを通じ、理解を深める								
9	6月18日	Unit 6 Individualism (個人主義)	<input type="checkbox"/> 個人・全体主義について考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> 自身の個人・全体主義的な考え方について配慮した会話の展開につなげる								
10	6月25日	Unit 7 Politeness (丁寧さ・ポライトネス)	<input type="checkbox"/> 丁寧さ・ポライトネスについて考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> 丁寧さ・ポライトネスについて配慮した会話の展開につなげる								
11	7月2日	Unit 8 Communication styles (コミュニケーションスタイル)	<input type="checkbox"/> コミュニケーションスタイルについて考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> コミュニケーションスタイルについて配慮した会話の展開につなげる								
12	7月9日	Unit 9 Diversity (ダイバーシティ)	<input type="checkbox"/> ダイバーシティについて考察する <input type="checkbox"/> 関連語彙の学習 <input type="checkbox"/> ダイバーシティについて配慮した会話の展開につなげる								
13	7月16日	プレゼンテーション準備	<input type="checkbox"/> Unit6~9で学習した内容に関するプレゼンテーションの準備								
14	7月23日	個別プレゼンテーション / 50点	<input type="checkbox"/> 選択したUnitのプレゼンテーションを通じ、理解を深める								
15	7月30日	Feedback (振り返り)	<input type="checkbox"/> 既習事項の復習 <input type="checkbox"/> 多文化に対して個人的に感じた感想の共有 <input type="checkbox"/>								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	P	曜日	水	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	PC基礎			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
				毎回のタイピング練習で基本的なタイピング技術を習得し、目的に応じたソフトウェア(Word、Excel、PowerPoint)を使ったデータ活用方法を学びます。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) Microsoft Officeソフトの中でも特に使用頻度が高い3つのソフトに限定し、基礎的な使用方法を演習形式で学ぶ。 各単元の最後にはそのソフトを使用して実践的な活用方法をイメージした課題作成を行う。											
(授業形式) 講義および実技など											
(評価方法) Word・Excel中間課題:18点×2 / Word・Excel課題:20点×2 / タイピング練習:2点×12											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月15日	オリエンテーション MicrosoftOfficeの概要説明 文字入力方法などのPC基本操作の説明①			<input type="checkbox"/> MicrosoftOfficeから使用できる機能がわかる <input type="checkbox"/> Word、Excel、PowerPointの特徴がわかる <input type="checkbox"/> 基本的なPC操作がわかる						
2	4月22日	文字入力方法などのPC基本操作の説明② 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 基礎的なPC操作がわかる <input type="checkbox"/> 文字入力方法を理解する <input type="checkbox"/> 文字入力の練習						
3	5月13日	Word演習① 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 文字の打ち込み、レイアウト編集、フォント設定などを理解する <input type="checkbox"/> 基本的なビジネス文章を作成することができる <input type="checkbox"/> 文字入力の練習						
4	5月20日	Word演習② 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 画像の挿入・編集、表の挿入・編集などを理解する <input type="checkbox"/> わかりやすい文章を作成することができる <input type="checkbox"/> 文字入力の練習						
5	5月27日	Word演習③ / 中間課題作成 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> これまで学んだワード機能を使用して簡易文章を作成 <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
6	6月3日	Word演習④ 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 他のワード機能を理解する <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
7	6月10日	Word演習⑤ / 課題作成 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> わかりやすいビジネス文章を作成 <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
8	6月17日	Excel演習① 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> エクセルに触れ、機能を理解する <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
9	6月24日	Excel演習② 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 表作成、グラフ作成の基礎ができる <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
10	7月1日	Excel演習③ 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 表作成、グラフ作成の基礎ができる <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
11	7月8日	Excel演習④ / 中間課題作成 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> これまで学んだエクセル機能を使用してデータを作成 <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
12	7月15日	Excel演習⑤ 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 関数を使ったシンプルな計算ができる <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
13	7月22日	Excel演習⑥ / 課題作成 【タイピング練習】			<input type="checkbox"/> 関数を使用して視覚的な工夫を行ったデータを作成 <input type="checkbox"/> 文字入力の練習 <input type="checkbox"/>						
14	7月29日	チーム対抗タイピング大会			<input type="checkbox"/> タイピング練習で使用している「イータイピング」でチームのスコアを競う						